

Rudolf Steiner:

“Esoterische Betrachtungen  
karmischer Zusammenhänge”, Band VI, GA 240

Die Vertiefung des Christentums  
durch die Sonnenkräfte Michaels

キリストは人類の中に太陽存在として生き、  
自らを明らかにする・・・

私たちは今、時代を支配するミカエルを通して  
それを見出さねばならない



シュタイナーによる「人類の代表」

新刊書 2022年12月28日発行

A5版フランス装 本文112頁

ISBN978-4-903865-54-6

定価2420円（本体価格2200円＋税）

訳者 丹羽敏雄 Toshio Niwa

京都大学理学部において数学を専攻。大学時代、ゲーテに出会い大きな影響を受ける。30代半ばシュタイナーの人智学に出会う。数学の研究・教育の傍ら、オイリュトミーに熱中。人智学をドイツ、イギリスなどで学ぶ。現在、ゲーテ・シュタイナーの科学、バイオグラフィー・ワーク、占星学、カバラを研究。バイオグラフィーワーカーズ・ジュピター会員。理学博士、津田塾大学名誉教授。

人智学関連著書に『やさしい占星術』、『星々と木々』、『シュタイナーの老年学』、『シュタイナーの人年学』、『百合と薔薇』、『沈黙のコスモロジー』他。訳書に『境域に立つ トーキー』、『植物への新しいまなざし』、『エーテルと生命力』、『魂の救済』、『アントロポソフィーの礎』、『人間と大地における惑星の作用と生命プロセス』、『カルマ認識と霊的・宗教的人生への衝動』

ルドルフ・シュタイナー 講演集

[カルマ的関連の秘教的考察]



ルドルフ・シュタイナー

# ミカエルの太陽諸力による キリスト教の深化

トーキーにおける3回の講演 (1924.8.12-21)

丹羽敏雄 訳・解説

コンスタンチノーブルにおける第8公会議・・・

それは身震いするような出来事でした。

まさにここ地上で869年に霊の廃止が行われたとき、  
あの天上の霊的世界において、ハールーン・アッラシードと  
彼の助言者のアレキサンダー大王とアリストテレスとの・・・  
出会いが執り行われたのです。

どのように宇宙的知性は求めることができるのか、  
どのようにそれはこんにち求められなくなり、  
どのようにそれはしかしかつて求められたのかについての1つの例を  
・・・かつてアーサーの城が建っていた場所に・・・立つとき、  
人は獲得します。

「ミカエル支配を通して、キリスト教が

1つのより深い意味の中で捉えられるべきである」という問が  
私たちの時代の大問題として私たちの前に立っている。

(本文より)

●目次より

訳者による序文

I トーキーにおける3回の講演

第1講演 トーキー、1924年8月12日

第2講演 トーキー、1924年8月14日

第3講演 トーキー、1924年8月21日

付録：クリスマス会議についての挨拶と新しい協会 トーキー、1924年8月12日  
挨拶／生き生きとした霊的衝動としてのクリスマス会議について／  
協会的なもの。部門とクラスについて

II カルマ論を通して人生と人間の本質を探る

——カルマ論とゴルゴダの秘蹟—— (訳者による解説)